



### 参考1 冬の北大西洋振動・北極振動(NAO/AO)が負の年の初夏の対流圏中層(高度5千メートル付近)の大気の流れのパターン

参考2の積雪の多い地域や海氷の多い地域に対応して、その上空の大気は低気圧循環になる。特にオホーツク海上空の低気圧性循環がもっとも大きい。地上のオホーツク海高気圧は弱まることになる。大ざっぱに見ると、概ね北極側が高気圧、低緯度側(北緯60度付近)が低気圧傾向になることも示している。